

# 経営比較分析表（令和3年度決算）

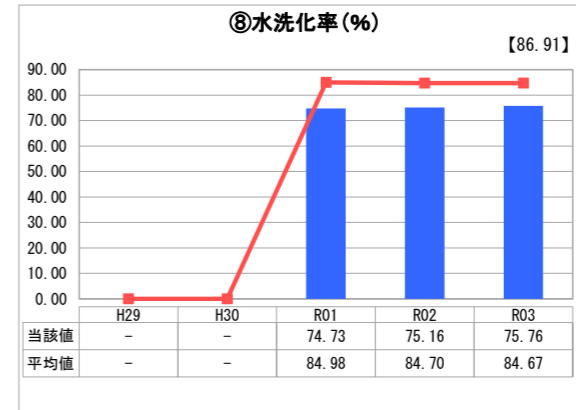
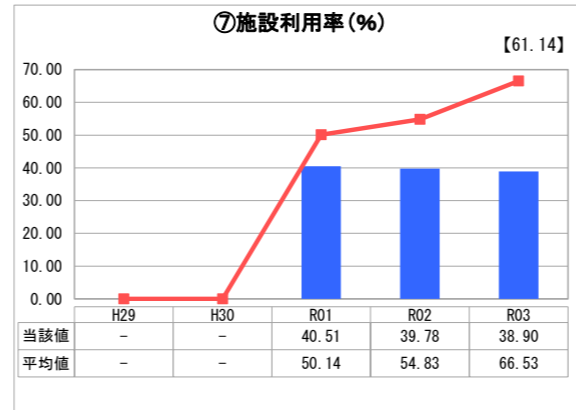
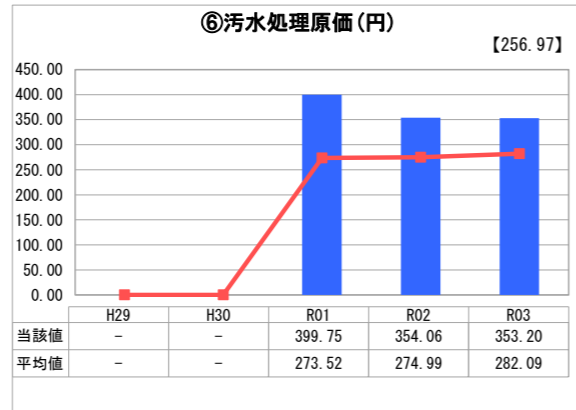
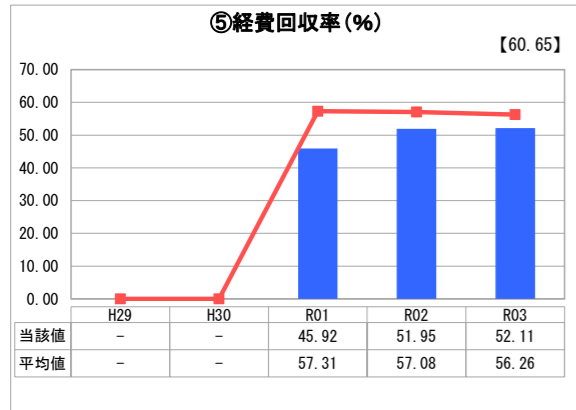
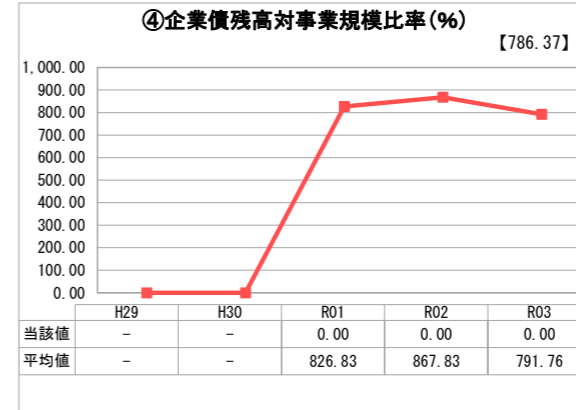
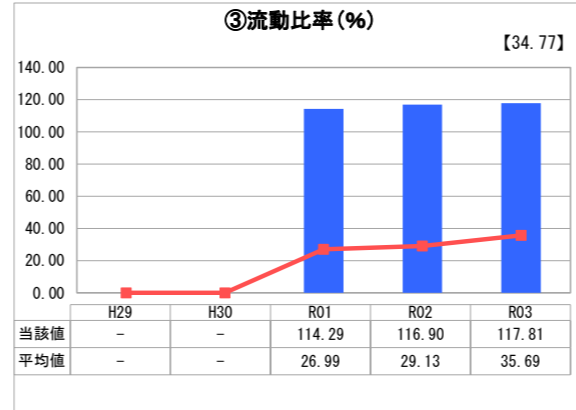
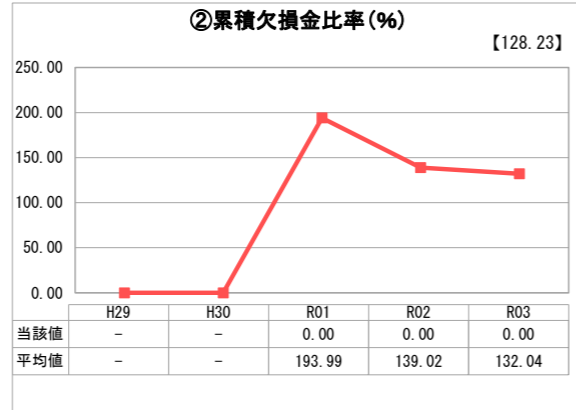
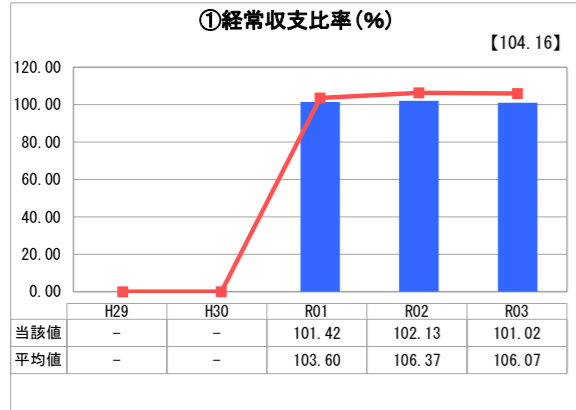
佐賀県 白石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	51.82	20.03	94.37	3,740

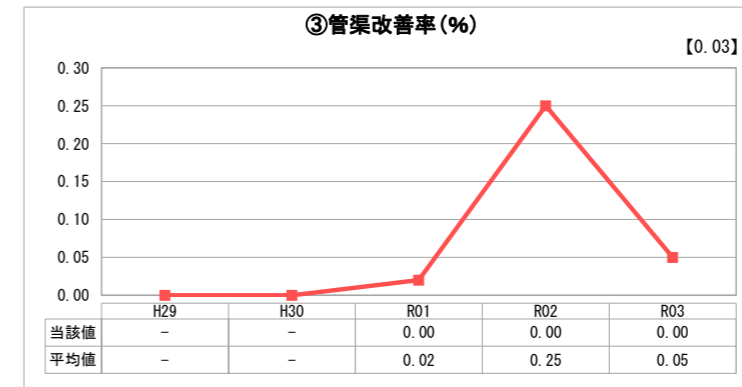
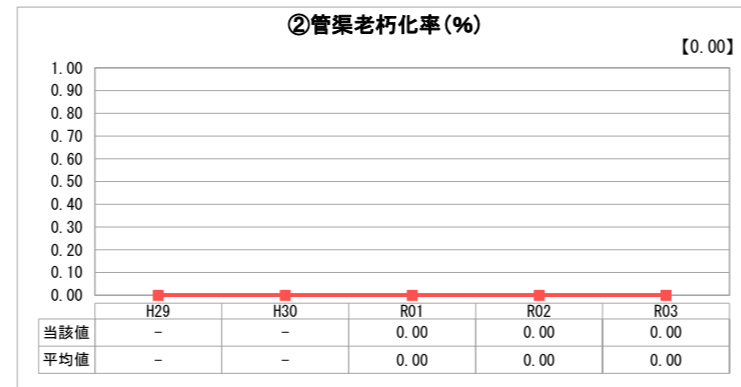
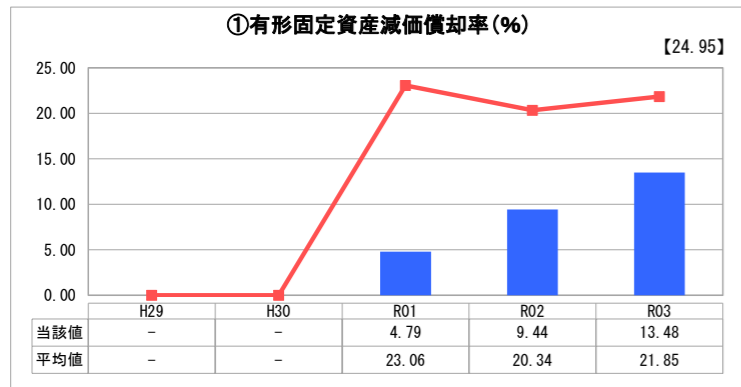
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
22,130	99.56	222.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,397	2.54	1,731.10

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超えている。総費用が前年度比△32,848千円に対し、総収益が前年度比△37,506千円となったため1.11%減少した。流動比率は、100%を超えている。未払金の減少により前年度比0.91%増加した。企業債残高事業規模比率が0%となっているのは、一般会計からの負担金があるためである。経費回収率は、前年度比+0.16%であるが、100%に届いていない。また、類似団体よりも低くなっている。真空方式を採用している地区の維持管理費が高いことが要因のひとつである。汚水処理原価は、年間有収水量が増加したことから、前年度比△0.86円となった。施設利用率は、38.90%で類似団体より低い。現在、処理場の統合を検討している。水洗化率は、ほぼ前年並みである。未接続世帯については、高齢者世帯も多く、大幅な水洗化率向上は厳しい。

### 2. 老朽化の状況について

令和元年度から地方公営企業の一部適用をしているため、減価償却累計額が少額で減価償却率も低くなっている。施設等の長寿命化を図っている。

### 全体総括

人口減少や動力費の高騰など下水道事業を取りまく環境は厳しい。今後大幅な接続率の向上は見込めず、料金改定や処理場の集約化によるコスト削減をおこない、経営改善に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。